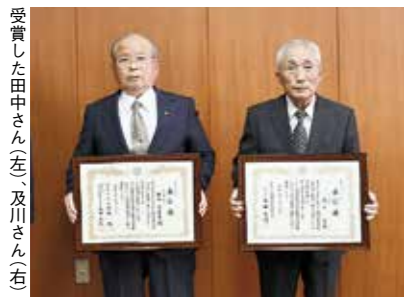


**3月4日**  
町の防犯運動に貢献  
全国防犯功労者表彰伝達式を開催



令和3年度全国防犯功労者表彰伝達式が3月4日、弟子屈警察署で行われました。この表彰は、永年にわたり地域安全活動などに功労があった個人・団体を対象に行われるもので、弟子屈地区防犯協会連合会会長の田中富士男さんが防犯栄誉金章、同連合会監事の及川宏さんが防犯栄誉銅章を受賞しました。田中さんは「長年の活動が認められて嬉しい。今回受賞したのは地域の皆さんの協力があってこそです」と話しました。

カメラスケッチ  
**広報マンが行く!!**  
このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけかけます。お気軽にご連絡ください。  
まわづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

**3月17日**  
藻谷浩介さんが弟子屈の可能性を語る  
中高生の保護者向け説明会を開催



町と釧路北部地域雇用創造協議会の主催による、中高生の保護者向け講演会が3月17日、町商工会館で開催されました。講師として招かれた(株)日本総合研究所首席研究員の藻谷浩介さんが、参加した保護者ら約20人に「弟子屈の未来と可能性」と題して講演を行いました。藻谷さんは「弟子屈には自然の大切な要素が全て揃っている。『当たり前』ではなく『ありがたい』ことだと理解してほしい」と力説。講演会の後行われた座談会では、都市部から町に移住した地域おこし協力隊員2人が加わり、町の将来像などについて意見を交換しました。

**3月16日～26日**  
乳製品消費拡大の取り組み  
乳幼児、児童生徒に乳製品を無料配布



町では、町内の0歳から弟子屈高校生までの全員を対象とした、乳製品詰め合わせセットの無料配布を3月16日から26日にかけて、Aコープてしかが店で行いました。コロナ禍で需要が落ち込む乳製品の消費拡大と子育て支援を目的に実施されたもので、プロセスチーズやスモークチーズ、バターなどの乳製品の詰め合わせセットを718人分を配布。初日には、徳永町長と摩周湖農業協同組合の川口覚組合長が、訪れた対象者に手渡しで配布し、更なる乳製品の消費を呼び掛けました。

**4月8日～28日**  
個性豊かな作品がズラリ  
越前清美さんの切り絵作品展が開催



町在住の越前清美さんの切り絵作品展が、4月8日～28日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。「詩～うた～に切り絵を添えて」「私の好きな山頭火」の2つをテーマに、詩や歌詞を切り絵で飾った作品と、種田山頭火の俳句を切り絵で表現した作品23点が展示され、バラエティーに富んだ精巧な作品が郵便局の利用者の目を楽しませました。鑑賞した皆さんからは「とてもきれいで、ずっと見ていたくなる」との声も寄せられていました。

**3月31日**  
食事を共に楽しむ  
キッチンみちくさが出張開催



待合室「みちくさ」(小林壽男会長)が運営する「キッチンみちくさ」が、3月31日、放課後児童クラブ「にこにこクラブ」で開催されました。「キッチンみちくさ」は、毎月1回行われている、子どもからお年寄りまでどなたでも利用できる地域食堂です。通常は第3土曜日に福祉センターで開催されていますが、3月は児童たちが春休み期間中であったことから、特別に放課後児童クラブに出張して開催。この日はカレーライス、バナナ、牛乳、プリンが提供され、同クラブの児童30人はおいしそうにほおぼっていました。

**地元の料理を楽しく学ぶ**

イモ団子教室 | 美留和小学校



きれいにまとめるコツを教わる



先生の皮むきの速さに驚き



4皿分完食しました

完成したイモ団子は、砂糖、しょうゆ、バター、のりなどを使い、さまざまに味で楽しみました。児童からは「とても楽しかったので家でも作ってみたい」「先生の皮むきが速くてすごかった」などの声がかれました。

美留和小学校(佐藤義行校長)で、3月17日、「イモ団子教室」が行われました。同校と美留和ラブの会(美留和小学校を応援する会)の共同企画で、今年で2回目。美留和在住歴56年の若松壽江さんと、同70年の渡邊伊勢子さんを講師に招き、同校の児童4人がイモ団子の本町における歴史的背景と作り方を学びました。児童たちは料理の工程を確認した後、2グループに分かれてイモ団子を作りました。先生にやり方やコツを教えて貰いながら、どの作業も楽しそうに取り組んでいました。同会の藤原直美さんは、イモ団子の歴史や当時の食べ方などを紹介。当町出身の詩人・更科源藏もイモ団子を食べていたことを知り、児童たちは驚いていました。完成したイモ団子は、砂糖、しょうゆ、バター、のりなどを使い、さまざまに味で楽しみました。児童からは「とても楽しかったので家でも作ってみたい」「先生の皮むきが速くてすごかった」などの声がかれました。

町の話



CloseUp Topics

町内の美しい景色を捉える

第11回弟子屈フォトコンテスト



全作品は弟子屈なびで



「ハロが出た日」



「別世界を感じる」



「心地光明」



「雲間のカムイシュ島」

摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)が主催する「第11回弟子屈フォトコンテスト」の入賞作品の写真展が4月5日から29日の間、道の駅「摩周温泉」で開催されました。コンテストは2年ぶりの開催。道内外から246点の応募がありました。写真展では屈斜路湖のアイスパブルや硫黄山の星空など、弟子屈の誇る風景を捉えた写真19点が展示され、来館者の目を楽しませました。5月2日からは弟子屈郵便局でも開催されます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。最優秀・優秀作品は次のとおりです。入選・特別賞を含む全ての作品は同協会ホームページ弟子屈なびで紹介されています。

- ▼最優秀賞(敬称略)
  - ・西川文彬(札幌市)「雲間のカムイシュ島」
- ▼優秀賞(敬称略)
  - ・畑端憲行(新ひだか町)「心地光明」
  - ・横江健一(札幌市)「別世界を感じる」
- ・村上勝(釧路市)「ハロが出た日」



来場者の目を楽しませた写真展